

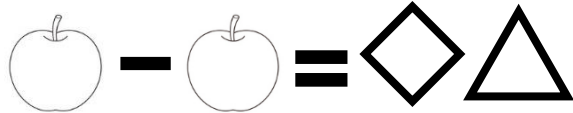
# 図書館でナゾを解け 2021 『1つの世界と7つの書』

多くの神話で「はじめ世界は一つだった」と書かれている。争い、災害、ウイルス、さまざまな困難はあるが、心をつにして手を取り合えることを願っている勇者たちがいる。キミもその一人かどうか試させてもらおうとしよう。キミに「日・繁・簡・韓・西・仏・英」の7書をたくす。再び世界を1つにするための鍵を見つけてほしい。


## 第一章 果実の画

同じ言葉と言っても良いのに、文字が異なる2つの書がある。暗号に従って1つにせよ。

「島の果実から大陸の果実を引け」



$\text{Apple} - \text{Apple} = \text{Diamond} \triangleq \text{Triangle}$



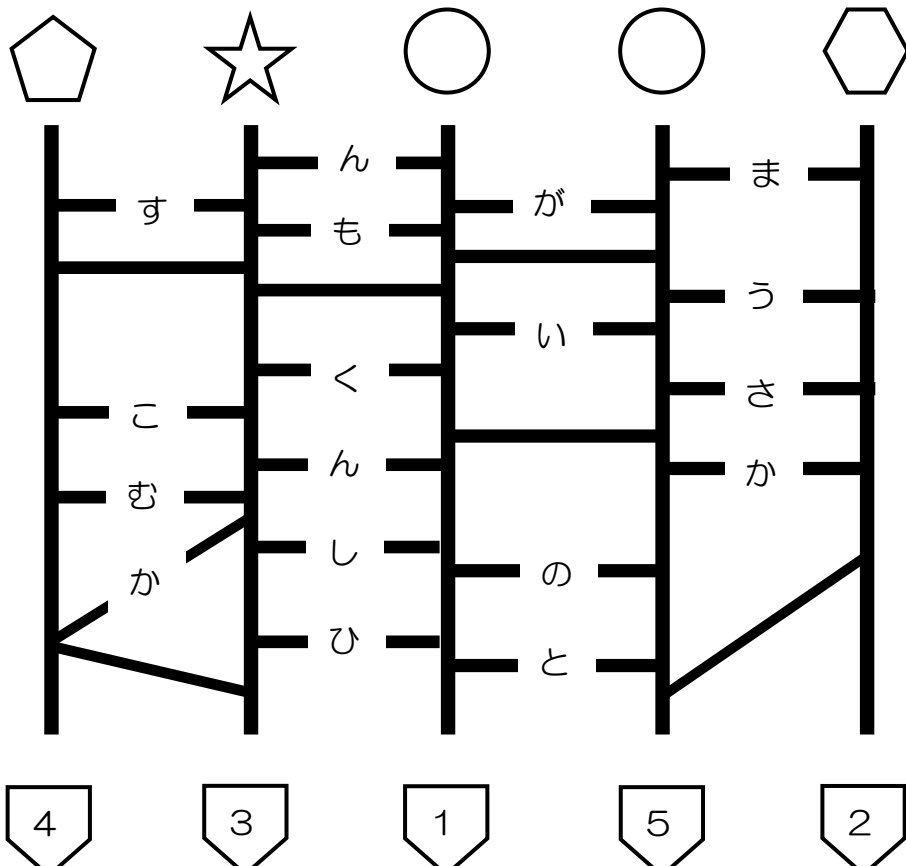
$\text{Diamond} + \text{Triangle} = \text{Rectangle}$

第一の鍵

## 第二章 星が流れる

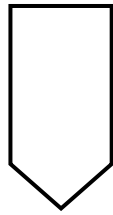
西 manzana

仏



す ん が ま  
も も が う  
い  
く さ  
こ ん か  
む し  
か ひ の と

「行き着く先が鍵になる」



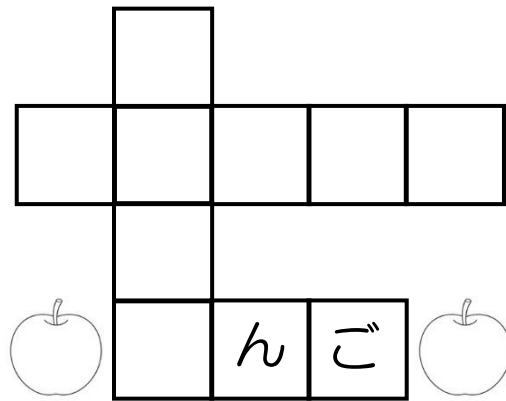
第二の鍵

ある名前が浮かび上がってきた。日の書からその名を探し、英の書で同じものを見つけてほしい。見た目は同じなのに、どうやら意味が違うようだ。文化によって見え方が変わるらしい。

英の書の言葉を日の書で使う言葉に直してみしてほしい。調べても構わない。

次の暗号だ。

「あみだで浮かび上がった言葉をヨコに、いま翻訳した言葉をタテに当てはめてみよう」



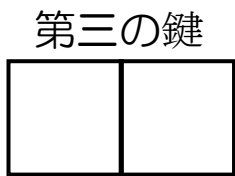
果実に挟まれた新しい言葉が浮かび上がった。いや、これは言葉なのか？ 日の書で確かめてもらいたい。

### 第三章 2つの文字は1つになる

どうやら日の書では物自体の意味ではなく、並び順に沿っていることを示す記号として用いられていたようだ。言葉というものは様々な用途があるものだと感心する。言葉を生み出した我々の祖先に敬意を表さねばなるまい。

おや？ まだ使っていない最後の1冊はまるで記号のような文字を使う文化のようだ。

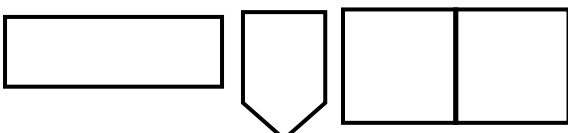
「果実に挟まれた果実を韓の書に求め、日が無くなった位置を見よ」



I	V	I	X	I
X	I	쉬과	V	II
I	II	V	III	X
III	V	X	I	V
I	X	V	II	III

あと少しで扉は開かれる。誰一人取り残さず持続して発展を続ける世界を作っていくための欠かせない要素が現れるだろう。それこそがこの世界に秘められた宝なのだ。

1	2	3	4	5	6	7	8	9																	
f	o	u	e	s	p	e	s	t	e	u	x	e	r	a	m	o	n	d	e	s	j	e	n	z	a



鍵が合わさり、扉が開かれる準備が整った。隠されていたナゾを知る準備はできているか？ 図書館の主に答えを告げよう。